

# 広島大学学術情報リポジトリ

## Hiroshima University Institutional Repository

Title	大学生の著作権意識についての調査と分析
Author(s)	天野, 由貴; 隅谷, 孝洋; 井上, 仁
Citation	大学ICT推進協議会年次大会論文集, 2022
Issue Date	2022-12
DOI	
Self DOI	
URL	<a href="https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00053337">https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00053337</a>
Right	Copyright (c) 2022 大学ICT推進協議会
Relation	



# 大学生の著作権意識についての調査と分析

天野 由貴<sup>1)</sup>, 隅谷 孝洋<sup>2)</sup>, 井上 仁<sup>3)</sup>

1) 東京工業大学 教育革新センター

2) 広島大学 情報メディア教育研究センター

3) 中村学園大学 流通科学部

amano.y.aj@m.titech.ac.jp

## Survey and Analysis of College Students' Copyright Awareness

Yuki AMANO<sup>1)</sup>, Takahiro SUMIYA<sup>2)</sup>, Hitoshi INOUE<sup>3)</sup>

1) Center for Innovative Teaching and Learning, Tokyo Institute of Technology

2) Information Media Center, Hiroshima University

3) Department of Business, Marketing and Distribution, Nakamura Gakuen University

### 概要

大学の学部生を対象に著作権の意識調査をおこなった。著作物を扱う際に身近に起こりうる質問を設定し、全国400人の学生にWeb形式でアンケート調査を実施した。結果、学校や大学の授業でおこなう著作権教育には、知識習得に一定の効果が見られる一方、SNSなどでは著作権侵害行為をおこなってしまう傾向も見られた。また、著作権の知識にも勘違いが多い場合があることもわかった。

## 1 はじめに

2007年にiPhoneが誕生し、いわゆる「スマホ」が一般に普及した。総務省の令和3年通信利用動向調査[1]によると、インターネット利用の際にスマートフォンを使用しているのは13~19歳で80.6%、20~29歳で89.8%となっており、大学生のスマホ利用率が高いことがうかがえる。一方で、YouTubeが2005年、Twitterが2006年、InstagramとLINEが2011年にサービスを開始しており、本稿の調査時の2022年の大学生は子どもの時からこれらのサービスを使用できる環境であったということになる。こうしたSNS等の利用が一般に普及している環境の中で、著作物の利用形態も多様になっている。本稿では現代の大学生にどのような著作権教育が必要かを明らかにするための前段階として、大学生の著作権意識を調査した。大学生の著作権意識に関する先行研究として、稲葉(2004)[2]、三好(2008)[3]、山本(2012)[4]、稲葉ら(2014)[5]のものがあるが、いずれも調査から時間が経っており、現在のスマホ主流の文化の中で過ごす大学生の実態を把握するには、新たな調査が必要と考えた。そのため現在の大学生の身近な問題として起こりうることを想定して、質問を設定した。

## 2 調査方法と結果

### 2.1 スクリーニング調査

調査はアイブリッジ株式会社の「Freeasy」というサービスを利用し、全国の大学生を対象にインターネット上で実施した。Webアンケートを利用したのは、短期間で全国の多数の学生を調査できるというメリットがあったためである。「Freeasy」では、年齢、在住都道府県、性別、婚姻状況(既婚/未婚)、職業・職種、世帯年収、居住形態、子どもの有無の情報を登録ユーザから得ており、アンケート利用者に提供される。氏人など個人を特定し得る情報は取得できない。

登録ユーザはポイントサイト等を利用しており、アンケートに回答することによりポイントが付与されるというインセンティブがある。調査側が指定した回収数に達するとアンケートが閉じられるため、早いもの勝ちのようなかたちでスピーディにアンケート調査が実施される。今回は2000人のスクリーニング調査が11時間半、400人の本調査が2時間半で終了した。

職業が「学生」という情報はあがるが、高校生・大学生・専門学校生なのか等はわからないため、まずスクリーニング調査を実施した。職業が「学生」で、年齢が「18~29歳」を対象に、10代400人、20代1600人、いずれも男女半々の条件で、以下のように調査した。

表1 スクリーニング調査結果

	%	総計	男性	女性
大学	64%	1280	628	652
短期大学	2.45%	49	18	31
大学院	5.90%	118	83	35
それ以外	27.65%	553	271	282

表2 回答者の所属大学

大学種別	人数	割合
国立	95	23.8%
公立	24	6.0%
私立	280	70.0%
海外	1	0.3%



図1 アンケート画面

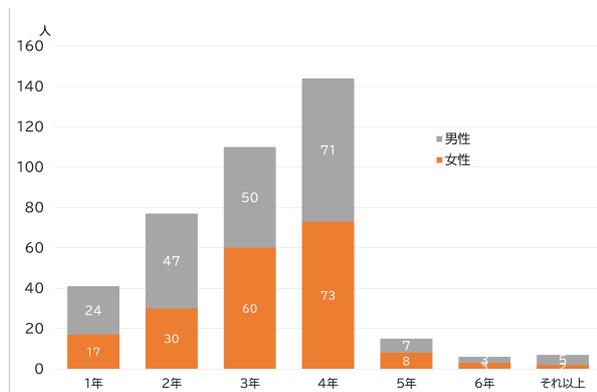


図2 回答者の学年

- ・ 設問：あなたが現在、在学しているものについて、チェックを入れてください。(単一選択)
- ・ 選択肢：大学、短期大学、大学院、それ以外
- ・ 実施日：2022年9月7日(水) 12:30 - 23:00

スクリーニング調査の結果を表1に示す。短期大学と大学院については数が少なかったため、本調査では「大学」と答えた人に対しておこなうこととした。

## 2.2 本調査

スクリーニング調査で「大学」と答えた人に対し、以下のように実施した。

- ・ 回収数：400 (男性：207人, 女性：193人)
- ・ 実施日：2022年9月15日(木) 15:30 - 18:00
- ・ 設問：30問 (付録に記載)

設問については、Q1~4が属性、Q5~15が経験を聞いており、Q16~30は著作権に関するクイズとなって

いる。経験については匿名のアンケートなので正直に答えてほしいこと、クイズに関しては調べたりせずに回答時点の知識で回答するよう、それぞれお願いの文章を記載した。設問は図1のように1問ずつ表示し、回答しないと次の設問には移れない。

## 2.3 回答者の属性

Q1の学年の結果について図2に示す。なぜか学年が上がるほど人数が増えているが、この要因についてはわからなかった。Q2の大学種別について、表2に示す。令和4年度の学校基本調査では、学生数は国立16.2%、公立5.5%、私立78.2%となっており、割合としては大きな齟齬はないが、今回の調査ではやや国立大学の割合が多い。Q3の学部の系列分けに関しては、文部科学省の学校基本調査の「学科系統分類表」を参考にしているが、商船系は数が少ないと思われるため、工学系と合わせた。今回の集計の際に、以下の3種類に分けた。

- ・ 文：人文、社会、芸術
- ・ 理：理学、工学、農学、医学、情報
- ・ 文理：教育、文理

回答者の文理種別について図3に示したとおり、文系と理解はちょうど同数程度だった。

## 2.4 回答者の経験

Q5では、今までに、小学校、中学校、高校、大学の授業もしくは講習会で著作権教育を受けたことがあるかを複数回答可で尋ねた。経験回数を示した図4では、授業と講習会では授業の方が多いが、いずれも1回も受けたことのない人が多いのがわかる。いつ受講したかについて示した図5では、最も多いのは高校の授業であり、次いで大学の授業という結果になった。

Q6では一度でもSNSに登録したことがあれば「ある」と回答するようお願い文を表示した。Q6に「ある」と回答した人(368人, 92%)にのみQ7~Q12を表示するようにした。SNSの投稿頻度を図6に示す。

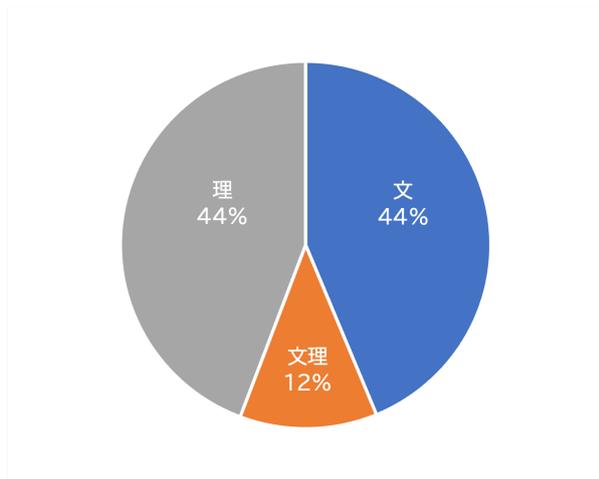


図3 回答者の文理種別

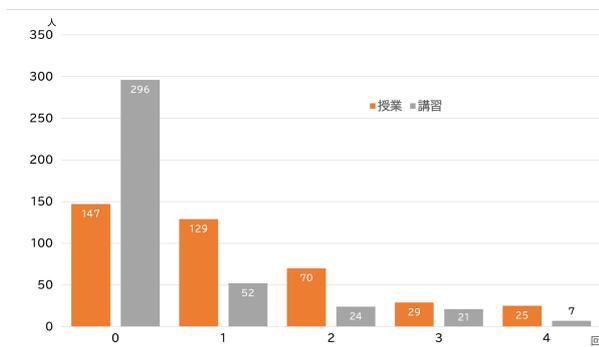


図4 著作権教育の受講回数

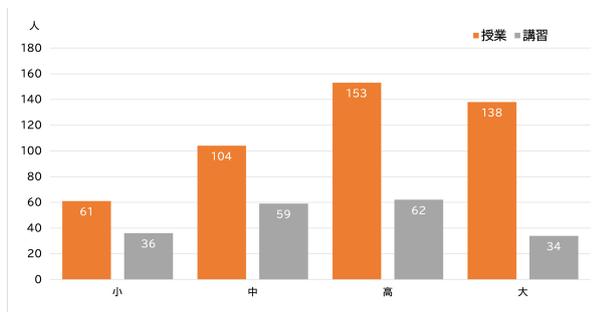


図5 著作権教育の受講時期

「ほぼ毎日」が最も多く 45.7%，次いで「ほぼ見るだけ」が 26.6%であった。

Q8～Q11については、SNSにおける経験を聞いているが、これらは許諾なくおこなった場合に著作権侵害となる行為である。「ある」と答えた結果について図7に示す。男女差をみたところ、概ね女性の方が侵害行為が多い傾向にあり、特にQ10の芸能人画像については顕著に女性が多い。t検定をおこなったところ、Q8からQ11のそれぞれでp値は0.021, 0.024, 0.000, 1.000となり、Q11以外は有意差ありとなった。

Q12では、SNSの利用規約を一度でも読んだことが

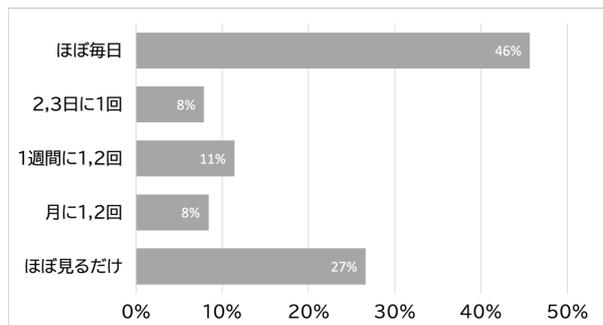


図6 SNSの投稿頻度

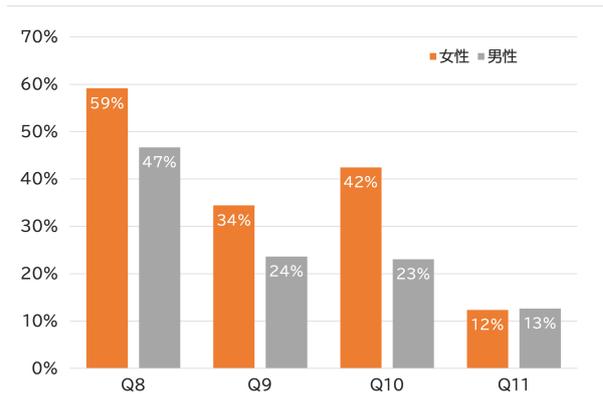


図7 Q8～Q11「ある」の回答率

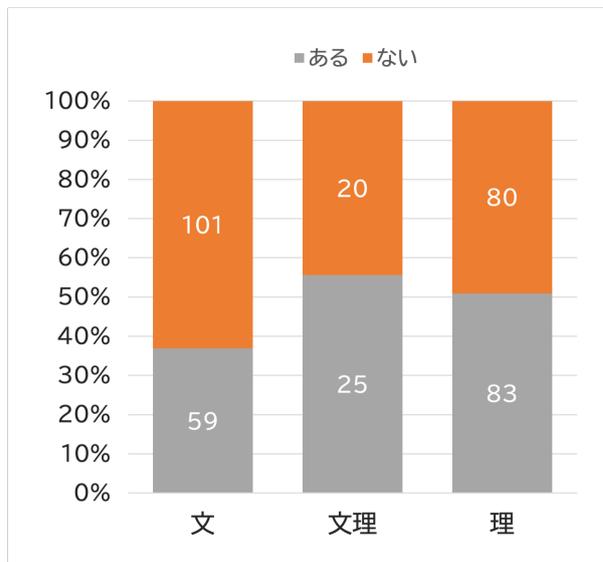


図8 Q12 利用規約を読んだ経験

あるかの質問である。表示しただけで読んでいないような場合には「なし」とするよう指示した。結果について図8に示す。文系の人が読んでいない傾向が見られ、 $p = 0.017$ で有意差があった。

Q13～Q15では、レポートやスライドなどでのコピー経験についての質問で、許諾なくおこなった場合に著作権侵害となる可能性がある。Q8～Q11, Q13～

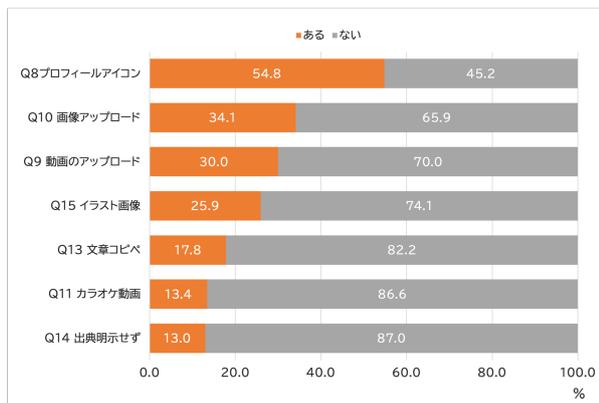


図9 回答者の経験

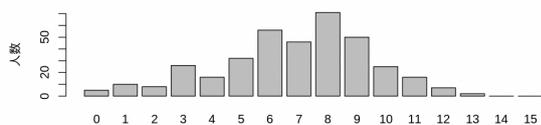


図10 クイズの正答個数と人数

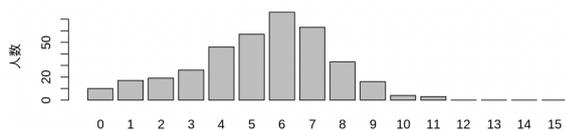


図11 クイズの不正解個数と人数

Q15 の設問で「ある」の多い方から並べたものを図9に示す。Q13～Q15は「ある」とした数は、SNS 侵害経験よりも少ない傾向にあった。SNS のプロフィールアイコンに第三者の著作物を使用していると答えた人は半数以上おり、経験を聞いた設問の中で最も多かった。

## 2.5 クイズの結果

### 2.5.1 不適切回答者の排除

この Web アンケートの特徴として、(1) 回答者のインセンティブがポイント付与であること、(2) 回収数が達成されるとアンケートが打ち切られるので、とにかく早く回答しないといけないことの2点から、ポイントを獲得するためだけに適当に回答する層がいることがわかった。具体的には、クイズの設問 (Q16～Q30) で、全て「なる」、全て「ならない」、全て「わからない」とした人は、クイズの分析からは除外した。不適切回答者は30人 (男性:16人、女性:14人) で7.5%であった。残り370人を分析対象とした。

### 2.5.2 クイズの結果

Q16～Q30の15問はクイズで、全員回答必須である。著作権侵害になるかどうかを問うており、選択肢

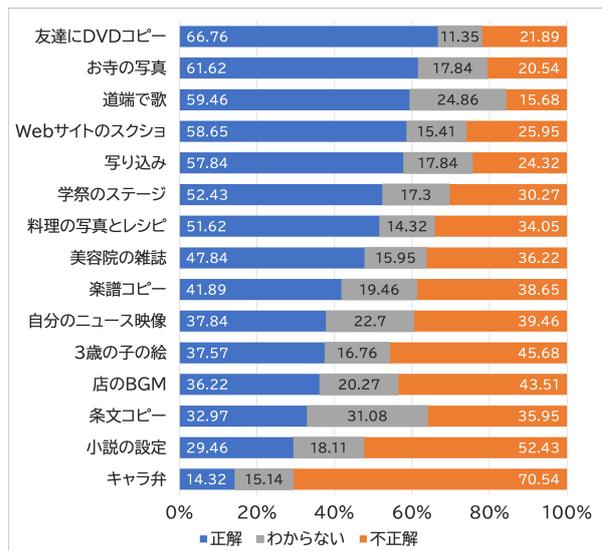


図12 クイズの正解率

は、1:なる、2:ならない、3:わからない、である。正解については付録に記載した。クイズは調べたりせずに、その時の知識で回答するよう指示を表示しているが、このアンケートでは回答にかかった時間がわからないため、調べて答えている人もいる可能性はある。

正答個数と人数の関係を図10、不正投稿数と人数の関係を図11に示す。また、各クイズの正答率について、正解を青、わからないをグレー、オレンジを不正解で図12に示した。最も正解している設問でも正解率は66.76%であり、正解が半数以上になっているのは15問中7問であった。キャラクターの弁当を作ることは複製であるが、それを写真に撮るもの複製、さらにそれをSNSに投稿することは公衆送信権の侵害となるが、これらのことを侵害とは感じていないのが70.54%と多かった。

図13は、Q16からQ30の各質問に対する回答を分類した結果を示している。ここでは、正解を1、不正解を-1、「わからない」を0として、370人の回答パターンにWard法で階層的クラスター分析を適用し、結果のデンドログラムを図に示した。近いパターンの回答は線で結ばれている。結果として、以下の4グループに分かれた。

- (1) 「ならない」が正解 (権利制限など)、正解率50%より高い
  - (2) 「なる」が正解、正解率が50%より高い
  - (3) 「なる」が正解、正解率が50%より低い
  - (4) 「ならない」が正解、正解率が50%より低い
- (3)(4)のグループについては、認識が誤っている

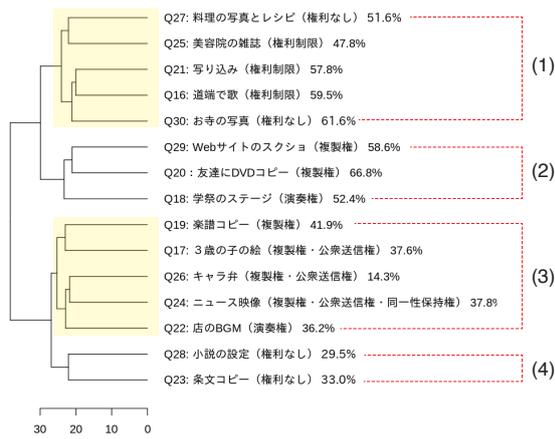


図 13 クイズの回答のクラスター分析

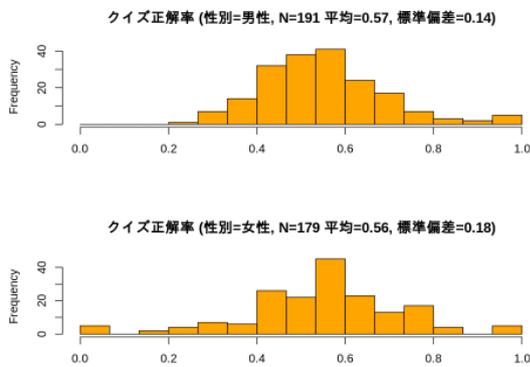


図 14 クイズ正解率の男女差

ことになるが、決して少なくない数値である。

## 2.6 クロス分析

クイズの正解率を男女別にグラフにしたものを図 14 に示す。女性の方がばらつきのある結果となった。

回答者の授業経験とクイズの正解率をクロス集計した結果を図 15 に示す。授業を受けている回数と正解率は、t 検定で計算したところ、0 回と 1 回では有意差がないが、1 回と 2 回以上では  $p = 0.015$  で有意差があった。授業で著作権教育を受けている回数が多いほど、クイズの正解率が高い傾向があり、授業の効果があることがわかる。一方で、授業・講習回数と SNS での侵害経験をクロス集計した結果 (図 16) を見ると、受講回数が多いほど侵害経験が多い結果となっているが、マン・ホイットニーの U 検定をおこなったところ、0 回と 1 回で  $p = 0.39$ 、1 回と 2 回以上で  $p = 0.68$  であり、有意差は見られなかった。大学での受講経験のみに対象を絞り SNS 侵害体験を計算すると、平均が 1.125 に下がるため、直近の教育には効果があると思われる。

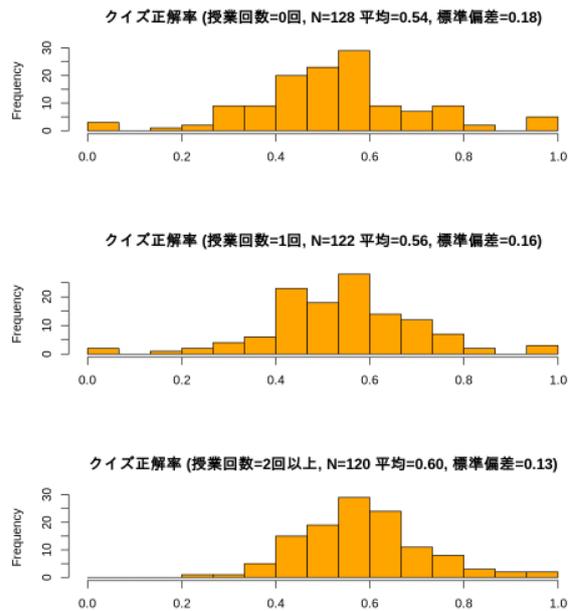


図 15 授業経験とクイズ正答率

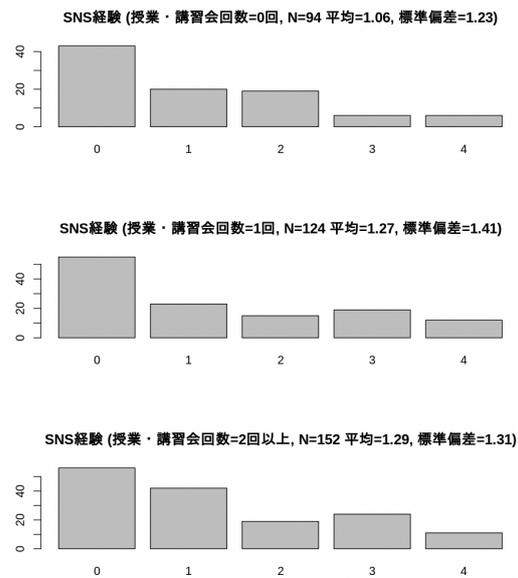


図 16 授業・講習経験と SNS 侵害回数

学年とクイズ正解率、文理とクイズ正解率、大学種別とクイズ正解率のクロス集計では、顕著な差は見られなかった。

## 3 まとめと課題

大学の学部生を対象に、著作物を扱う場面として身近にありがちな設問を用意し、経験と知識を調査した。その結果、以下のことがわかった。

- ・ 9 割近くの学生が SNS に登録しており、うち半数近くがほぼ毎日投稿していた

- ・ SNS における侵害行為について、女性の方が高い傾向が見られた
- ・ 論文やレポートでは著作物の扱いに 8 割以上が気をつけているが、イラスト画像では 74% と少し落ちる
- ・ 利用規約については、文系の人のほうが読んでいない傾向が見られた
- ・ クイズでは最も正解率の高い問題でも 67% であり、全体の半数以上の問題は正解率が 50% なかった
- ・ 授業で著作権教育を受講している経験がある場合、クイズの正解率が良い傾向が見られた

著作権というものは本来とても日常的で身近な権利でもあるに関わらず、クイズの正解率を見ても、知識が十分に身につけていない現状がうかがえる。また、著作権の知識があっても、SNS などでは侵害行為をおこなってしまう傾向が見られ、知識と行動が結びついていない場合も多いと考えられる。以上のことから、学生が身近な生活の中での著作権について考える力をつけられるような、著作権教育の必要性が示唆された。

また、今回の調査では、7.5% の不適切回答があったことから、このような Web 調査では不適切回答の数を見込んで必要な回収数よりも多めに回収をおこなわなければならないことがわかった。

今回の調査を元に、大学生に向けての著作権教材の内容を今後検討し、作成していきたい。

## 謝辞

本研究は JSPS 科研費 JP21H00896 の助成を受けたものである。

## 参考文献

- [1] 令和 3 年通信利用動向調査の結果  
[https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/data/220527\\_1.pdf](https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/data/220527_1.pdf)
- [2] 稲葉宏幸：大学生の著作権意識の実情と情報リテラシー教育—デジタル音楽の利用を例に、信学技報 104 (223), 11-16, 2004.
- [3] 三好善彦：大学生と著作権に関する分析，埼玉女子短期大学研究紀要 19 199-209, 2008.
- [4] 山本光：学生の著作権に関する知識・意識・行動の調査結果，日本教育工学会研究報告集 12 (1), 359-366, 2012.
- [5] 稲葉利江子，山崎礼実，渡邊恵理子，小館香椎

子：デジタルコンテンツ視聴に関する大学生の実態調査 —著作権侵害に対する一考察—，情報処理学会第 76 回全国大会講演論文集 2014 (1), 551-552, 2014.

## 付録 A アンケート

### A.1 回答者の属性

Q1 あなたの学年を教えてください

- 1 学部 1 年生
- 2 学部 2 年生
- 3 学部 3 年生
- 4 学部 4 年生
- 5 学部 5 年生
- 6 学部 6 年生
- 7 それ以上

Q2 あなたが在籍している大学の種別を教えてください

- 1 国立大学
- 2 私立大学
- 3 公立大学
- 4 海外の大学
- 5 その他

Q3 あなたが所属している学部はどの系列にあてはまりますか

- 1 人文科学系（文学，史学等）
- 2 社会科学系（法学，経済等）
- 3 理学系（数学，物理学，化学，生物学，地学等）
- 4 工学系，商船系（機械，電気，土木，建築等）
- 5 農学系（農業，獣医学，林学，水産学等）
- 6 医学系（医学，保険，薬学等）
- 7 教育学系（教育免許過程，教育学，特別支援等）
- 8 芸術系（美術，音楽，デザイン等）
- 9 情報系（情報科学，データサイエンス等）
- 10 文理融合系（総合科学，教養学，国際学等）

Q4 あなたの国籍は日本ですか？ 日本以外ですか？

- 1 日本
- 2 日本以外

### A.2 回答者の経験

Q5 今までに著作権についての授業や講習会を受けたことがありますか？ 受けたことあるものにチェックを入れてください。（複数回答可）

- 1 小学校の授業

- 2 小学校時の講習会
- 3 中学校の授業
- 4 中学校時の講習会
- 5 高校の授業
- 6 高校時の講習会
- 7 大学の授業
- 8 大学時の講習会
- 9 あてはまるものはない

Q6 SNS に登録したことがありますか？ 以下の設問でいう「SNS」とは、Twitter, Instagram, LINE, TikTok, YouTubeなどを指します。

- 1 ある
- 2 ない

Q7 SNS にどれくらいの頻度で投稿していますか？

- 1 ほぼ毎日
- 2 2,3日に1回
- 3 1週間に1,2回
- 4 月に1,2回
- 5 ほぼ見るだけ

(Q8～Q15の選択肢：1 ある 2 ない)

Q8 SNSの自分のプロフィールアイコンに、漫画・アニメ・ゲームのキャラクター、サンリオやディズニーなどのキャラクター、アイドル・俳優・モデルなど芸能人の画像を使用したことがありますか？

Q9 SNSに、テレビやYouTubeのスクショ画像や切り出した動画をアップロードしたことがありますか？

Q10 SNSに、アイドル・俳優・モデルなど芸能人の画像をアップロードしたことがありますか？

Q11 SNSに、自分がカラオケ屋さんで歌っている動画をアップロードしたことがありますか？

Q12 自分が登録しているSNSの利用規約を読んだことがありますか？

Q13 レポートや論文を書く際に、WikipediaやWeb記事の文章を、出典を明示せず、コピペで使用したことがありますか？

Q14 レポートや論文を書く際に、他の人の論文の文章、画像、図、表などを出典を明示せず、使用したこ

とがありますか？

Q15 Web上にあるイラストや画像などを、利用規約を確認せずに、自分の作成するプレゼンのスライドやチラシなどに使用したことがありますか？

### A.3 クイズ

選択肢：1 なる 2 ならない 3 わからない

Q16 流行りの歌を道端でギターを弾きながら歌った。通り過ぎるの人が聴いていたがお金はもらってない。

正解 2 ならない

Q17 親戚の3才の子が描いた絵がかわいかったので、SNSにアップした。

正解 1 なる

Q18 学祭のステージでK-POPの曲を吹奏楽で演奏した。ステージは自分の他に10組ほど演奏して、入場料は500円だった。

正解 1 なる

Q19 サークルで流行りのバンドの曲を練習するために、楽譜をコピーして、仲間で利用した。

正解 1 なる

Q20 おもしろいドラマを録画していたが、友達が観ていないと言うので、DVDに焼いてプレゼントした。

正解 1 なる

Q21 ディズニーランドに行って友達と写真を撮ったら、後ろにミッキーマウスが写り込んでいた。気にせずSNSに写真を投稿した。

正解 1 なる

Q22 バイト先のレストランで、好きなアーティストの曲をBGMとしてかけたいと思い、店長に聞いたらOKと言われたので、自分の購入したCDを店で流した。

正解 1 なる

Q23 SNSを見ていたら、著作権侵害をしている人がいたので、著作権法の条文をコピーして、そのひと宛でSNSに公開投稿した。

正解 2 ならない

Q24 ニュース映像に自分が写っていたので、嬉しくて自分の部分だけの動画を作成し SNS で公開した。正解 1 なる

Q25 美容院で雑誌を見ていたら、気になるカフェの情報が載っていたので、その記事をスマホで撮影した。正解 2 ならない

Q26 ピカチューのキャラ弁を作ったら、うまくできたので、写真に撮って SNS に投稿した。正解 1 なる

Q27 友達が考案した料理がすごく美味しかったので、自分で作ってみたところ同じように美味しくできた。できあがった料理の写真とレシピを SNS に投稿した。正解 2 ならない

Q28 ベストセラー小説で面白かったものがあったので、同じようなシチュエーションで違う小説を書いて小説投稿サイトに掲載した。正解 2 ならない

Q29 サークルで自己紹介プレゼンをすることになり、趣味の分野について、よく参考にさせてもらっているサイトがあるので、そのサイトのスクショ画像をスライドで使用した。正解 1 なる

Q30 200 年前に建てられた由緒あるお寺を、卒業旅行で見学した。写真をいっぱい撮って、Web サイトで公開した。正解 2 ならない

## 正誤表

	誤	正
2.1 1 段落目終わり	氏人	氏名
付録 Q21	正解 なる	正解 ならない (論文中の集計は「ならない」を正解として集計しています)